

文部科学省と国立大学附置研究所・センター 個別定例ランチミーティング

第97回 岡山大学 惑星物質研究所 (2024.10.11)

12:05 – 12:10(5分) : 惑星物質研究所の概要
所長 芳野 極

12:10 – 12:25(15分) : Organic Matter in the Asteroid Ryugu
小惑星リュウグウの有機物
准教授 Christian Potiszil

12:25 – 12:45(20分) : 質疑応答

文部科学省と国立大学附置研究所・センター 個別定例ランチミーティング
第97回 岡山大学 惑星物質研究所 (2024.10.11)

岡山大学 惑星物質研究所

岡山大学 惑星物質研究所所長
芳野 極



岡山医科大学三朝温泉療養所 (1939)

昭和14年7月28日発足。三朝村の好意により敷地15,949m²及び建物270m²の寄贈を受け内科・外科及び理学診療科で温泉医学研究と診療を開始。

岡山医科大学放射能泉研究所

昭和18年11月24日改組。温泉医学部門が設置される。さらに昭和22年1月22日、温泉の学理に関する総合的研究を目指し温泉化学部門が設置された。

岡山大学放射能泉研究所

昭和24年5月31日国立学校設置法により附置研究所となる。
・温泉化学部門設置(S24)

岡山大学温泉研究所

Institute for Thermal Spring Research, Okayama University

(1951) 昭和26年4月1日改称
温泉地質学部門増設(S29)

温泉研究所と三朝分院 (S27)

地学系

- ・温泉化学部門を熱水地球化学部門に改称(S50)
- ・地殻熱学部門増設(S51)

岡山大学地球内部研究センター

昭和60年4月1日全国共同利用施設として改組・転換

- ・地球深部物質部門
- ・同位体岩石学部門
- ・地球物質循環部門
- ・地球物理化学部門(客員)
- ・地球年代学部門増設(S62)
- ・造岩物質性部門増設(H03)

Institute for Study of the Earth's Interior (ISEI) (1985)



沿革・History

地球から宇宙へ

岡山大学惑星物質研究所(共同利用・共同研究拠点)

Institute for Planetary Materials (IPM)

平成28年4月1日改組

- 惑星物質基礎科学部門
 - ・先進惑星物質解析分野
 - ・惑星深部物質分野
- 惑星システム科学部門
 - ・地球惑星年代学分野
 - ・惑星環境進化分野
- 生命・流体物質科学部門
 - ・惑星流体物質分野
 - ・生命起源物質分野

2016
(H28)

平成27年12月31日岡山大学病院三朝医療センター閉院

共同利用・共同研究拠点(地球・惑星物質科学研究拠点)認定

2010(H22)

5年一貫制博士課程自然科学研究科地球惑星物質科学専攻が設置される。

2009(H21)

分析地球化学講座と実験物理学講座からなる自然科学研究科地球物質科学専攻が設置される。

2007(H19)

岡山大学地球物質科学研究センター

(全国共同利用施設) Institute for Study of the Earth's Interior
Okayama University (joint-use research center)

平成17年4月1日改組転換

- *分析地球化学部門
- *実験地球物理学部門
- *国際共同研究推進部門
- *客員外国人研究部門

2005(H17)

平成16年4月1日国立大学法人へ移行(2004)

平成15年度文科省21世紀COEプログラムに採択される。
プログラム名「固体地球科学の国際研究拠点形成」(2003)

1995 (H7)

岡山大学固体地球研究センター
(全国共同利用施設)

Institute for Study of the Earth's Interior
Okayama University (joint-use research center)

平成7年4月1日改組転換

- *基礎火山学部門
- *基礎宇宙化学部門
- *地球進化化学部門
- *地球科学データベース開発部



▲地球物質科学研究センター(H17)
Institute for Study of the Earth's Interior (2005)

医学系

内科外科診療開始 (S14)
温泉医学部門設置 (S18)

岡山大学医学部付属病院 三朝分院

昭和24年5月31日新制岡山大学の創立と共に診療活動機関として引き継がれた昭和40年4月1日付け省令第17号により官制化された。
リハビリテーション医学部門増設(S42)・温泉医学部門を温泉内科学部門に改称(S52)

1980
(S55)

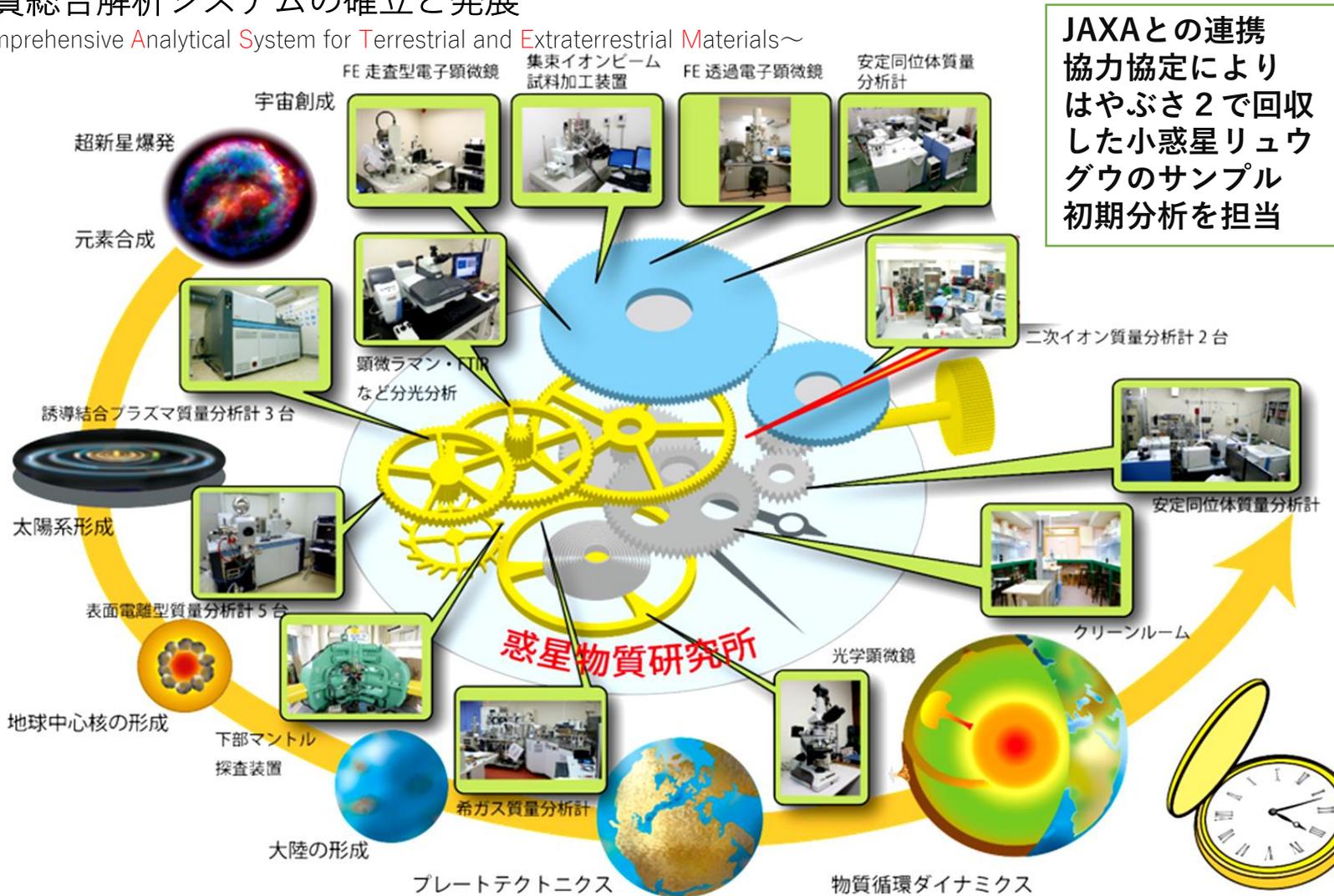
岡山大学医学部付属環境病態研究施設
昭和60年4月1日新設移行。
平成3年4月12日付け省令第19号により廃止。

我が国の強みである小惑星のサンプルリターンでは、高度な分析技術により「はやぶさ2」キュレーション施設として、世界的な地位の維持・向上に貢献

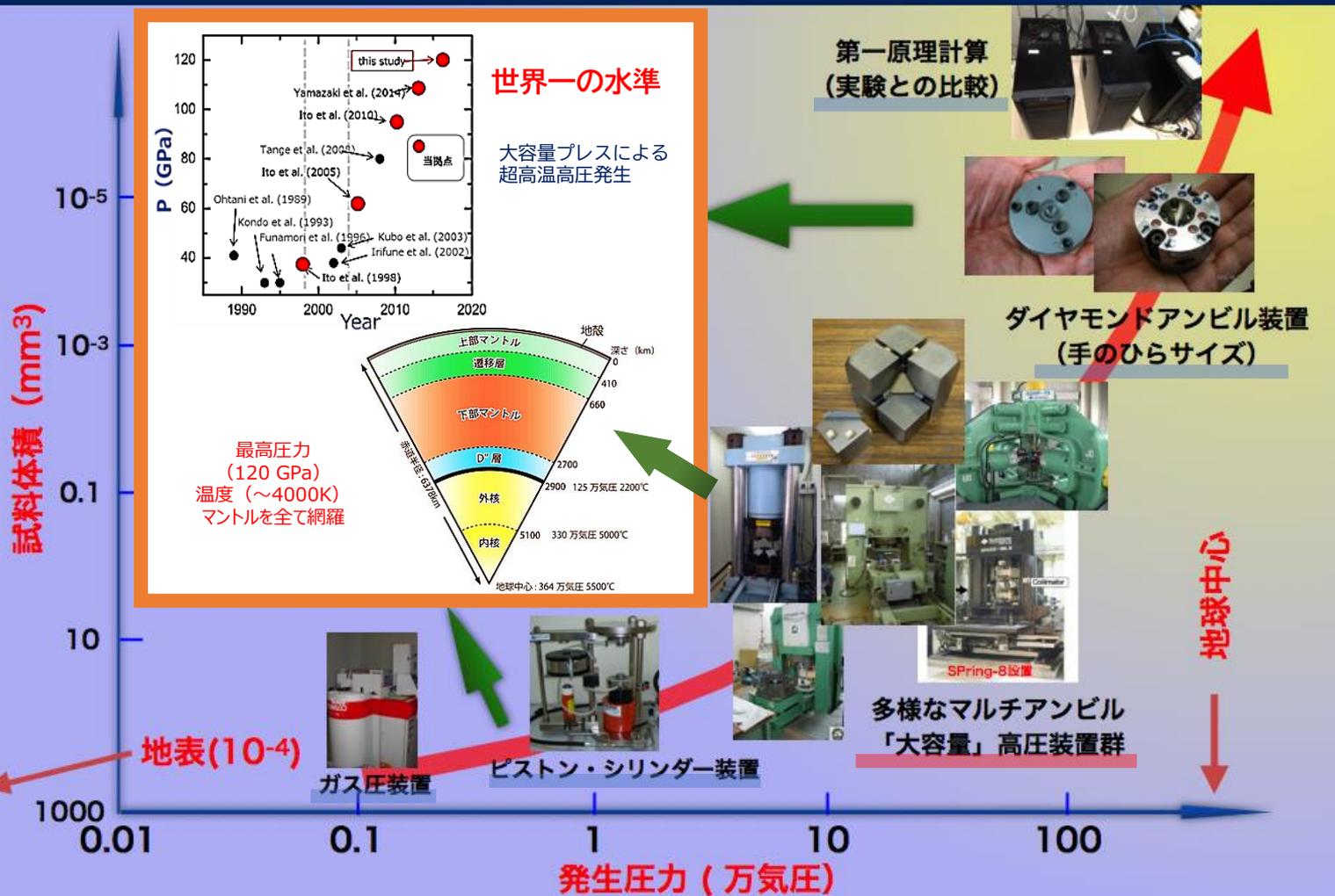
地球惑星物質総合解析システムの確立と発展

CASTEM~Comprehensive Analytical System for Terrestrial and Extraterrestrial Materials~

令和4年6月
学士院紀要にて
小惑星リュウグウ
から採取した試料
の分析成果論文を
発表
小惑星リュウグウ
の起源と進化 -
地球化学総合解析
による太陽系物質
進化の描像



地表から地球中心まで ～シームレスな高压装置群～



三朝国際学生 インターンシッププログラム

世界各国から優秀な学生を集め約6週間の研究プログラムを実施。最先端の研究活動を実感し、研究者としての思考プロセスの習得やプレゼンテーション能力の向上、研究への情熱を涵養する。敷地内にある三朝宿泊所での共同生活を通して異文化理解を深めることにより、次世代若手研究者の国際的なネットワークを構築することを目的としている。
国際的な視点での独自の人材育成である本取り組みは、これまで176名を受け入れており、外部からも高い評価を得ている。



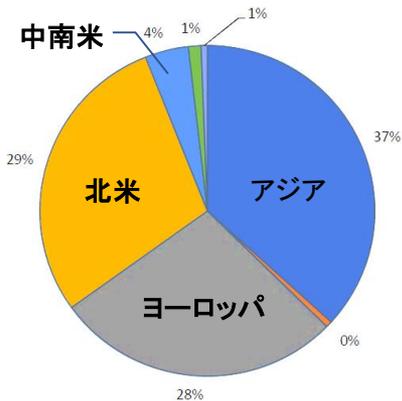
若手研究者育成への貢献

参加者のうち

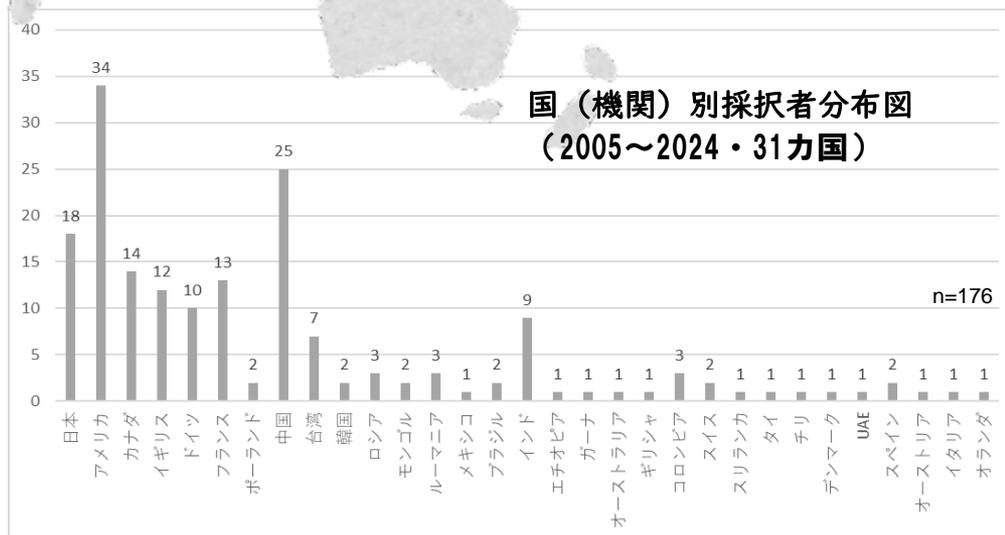
本研究所採用者	4名
共同利用研究者	10名
5年一貫制入学者	12名

採択者の地域別割合

欧米採択者約6割

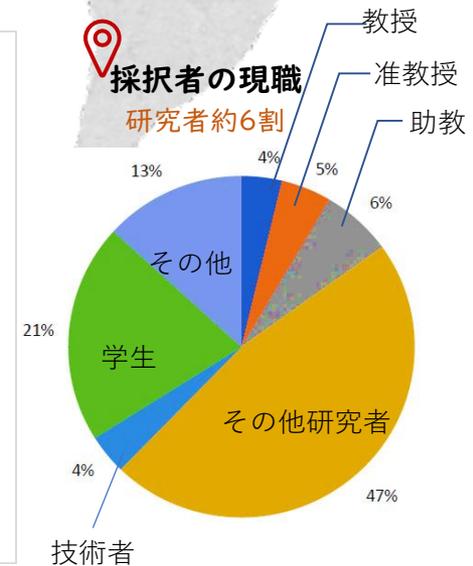


国（機関）別採択者分布図 （2005～2024・31カ国）



採択者の現職

研究者約6割



地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 (J-PEAKS) に採択

惑星物質研究所「**高等先鋭研究院**」に認定
→ **宇宙戦略事業**を強力に推進



- 令和6年度概算要求惑星物質研究所(惑星物質科学研究拠点)の組織再編による機能強化に基づき、惑星表層環境部門に新規教員(教授・准教授)2名採用予定。
- 惑星表層環境シュミレーター、ハイパースペクトルカメラの導入。
- 「三朝ブレインストーミング」の開催
医学、農学、工学、人文学等を含め、異分野融合研究に向けた取り組みを開始。(令和6年3月7日～8日)

